

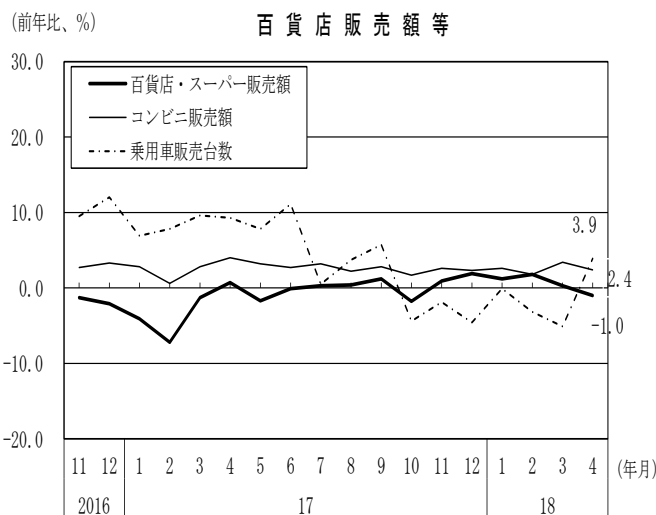
●最近の県内経済

基調判断
(2018年4月を中心として)



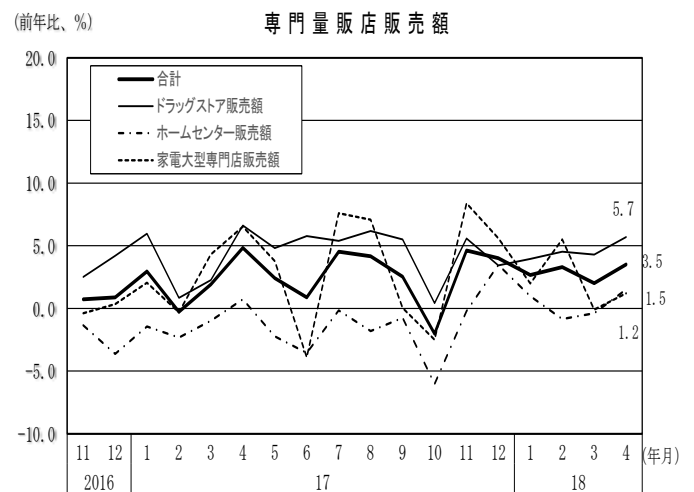
今月の概要
県内景気は緩やかに回復している。

1 個人消費 持ち直し



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売店協会など

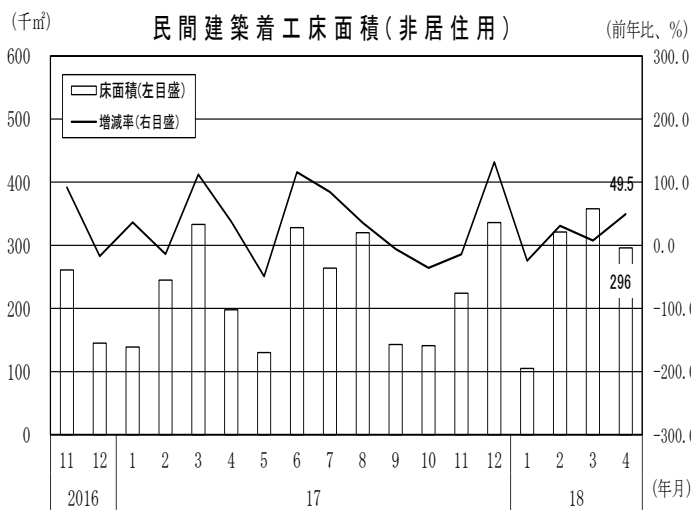
4月の百貨店・スーパー販売額(店舗調整前)は、804億円で6か月ぶりに前年比1.0%減少した。百貨店は同3.8%減、スーパーは同0.4%減とともに減少した。コンビニ販売は同2.4%増と堅調に推移している。乗用車販売(軽含む)は、7か月ぶりに同3.9%増加した。内訳をみると、小型車が同4.7%減と7か月連続減少したものの、普通車が同2.6%増、軽乗用車が同14.2%増加した。



(資料) 経済産業省

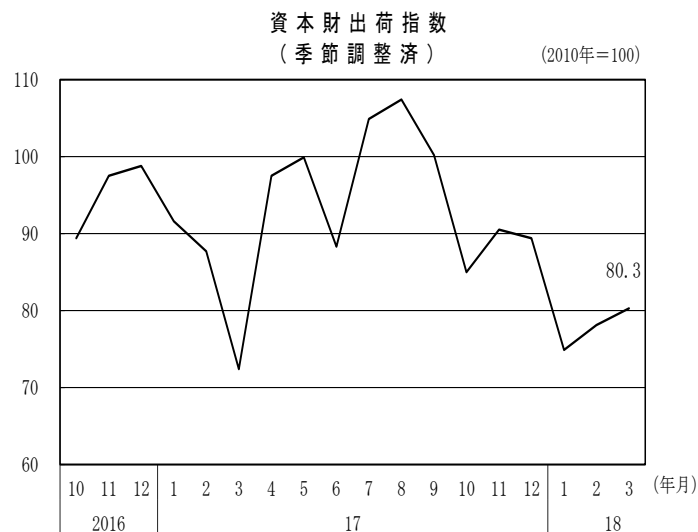
4月の専門量販店販売額は、640億円で前年比3.5%増と引き続き増加した。内訳をみると、ドラッグストアは319億円で同5.7%増と好調に推移し、家電大型専門店が142億円で同1.2%増、ホームセンターが179億円で同1.5%増加している。

2 設備投資 増加基調



(資料)国土交通省

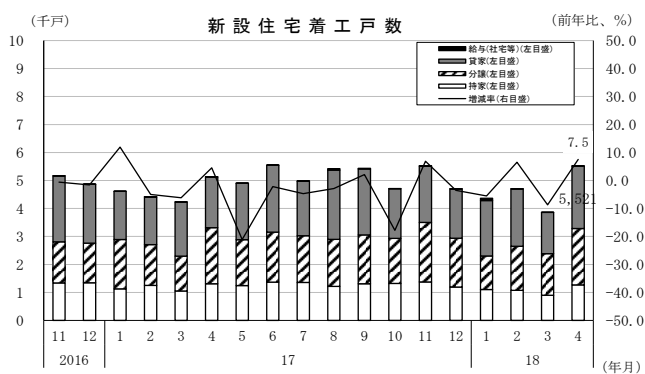
4月の民間建築着工床面積(非居住用)は、296千㎡で前年比49.5%増加した。用途別にみると、工場及び作業場などが減少したものの、店舗、倉庫などが増加した。



(資料)埼玉県

3月の資本財出荷指数(季節調整済)は、80.3で前月比2.8%上昇した。

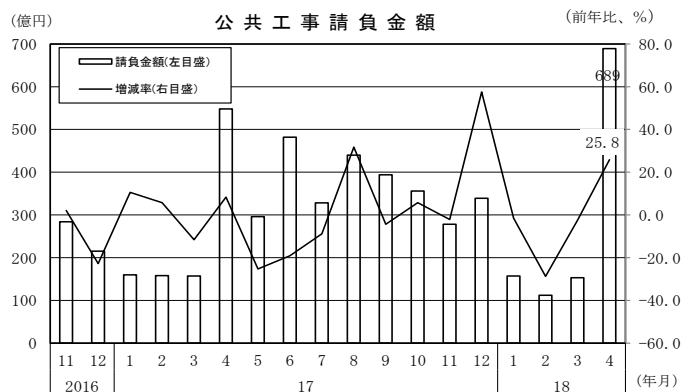
3 住宅建設 下げ止まり



(資料)国土交通省

4月の新設住宅着工戸数は、5,521戸で前年比7.5%増加した。利用関係別にみると、持家は1,270戸で同3.1%減少したものの、貸家は2,236戸で同23.5%増、分譲戸建ては1,405戸で同4.5%増加した。

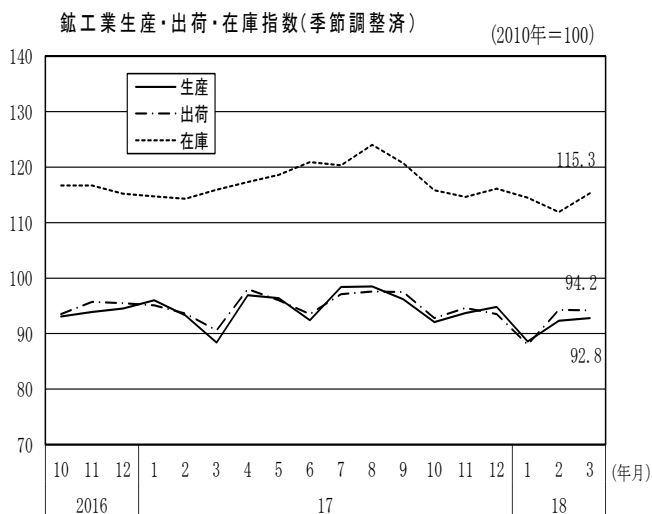
4 公共工事 持ち直しの動き



(資料)東日本建設業保証株式会社

4月の公共工事請負額は、689億円で前年比25.8%増加した。発注者別でみると、独立行政法人等、県などが減少したものの、国、市町村などが増加した。

5 生産活動 一進一退

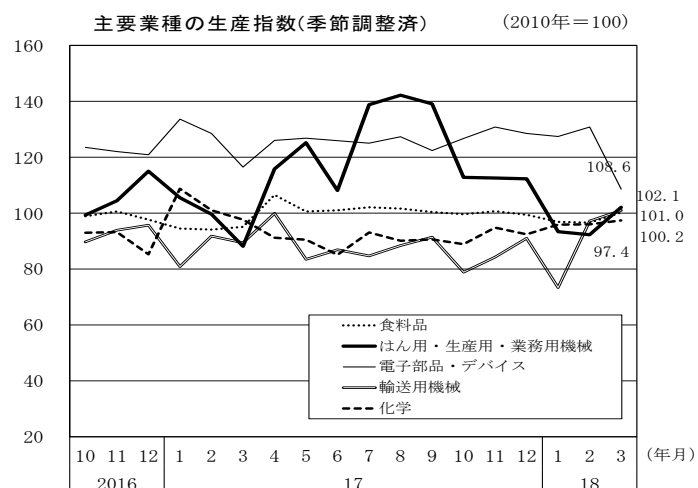


(資料)埼玉県

3月の生産指数(季節調整済)は、92.8で前月比0.5%上昇した(2か月連続の上昇)。電子部品・デバイス(集積回路)などが低下したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、輸送用機械(乗用車)などが上昇した。

出荷指数(同)は、94.2で同0.1%低下した(2か月ぶりの低下)。生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)が上昇したが、電気機械(電力変換装置、電気計器)、電子部品・デバイス(集積回路)などが低下した。

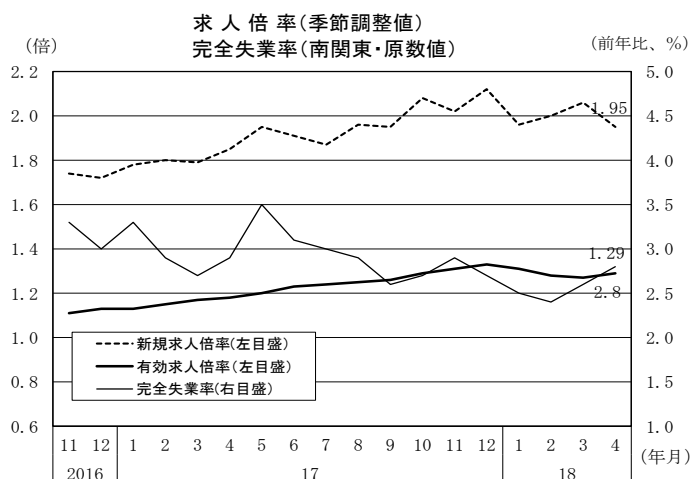
在庫指数(同)は、115.3で同3.0%上昇した(3か月ぶりの上昇)。電気機械(電気測定器)が低下したが、金属製品(飲料用アルミニウム缶)、鉄鋼(鋳鉄管)、パルプ・紙加工品(段ボール原紙)などが上昇した。



(資料)埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、100.2で前月比3.7%上昇し、4か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は108.6で同17.0%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ はん用・生産用・業務用機械(同)は、102.1で同10.6%上昇し、7か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 輸送用機械(同)は、101.0で同3.9%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、97.4で同1.5%上昇し、3か月連続の上昇となった。

6 雇用情勢 着実に改善

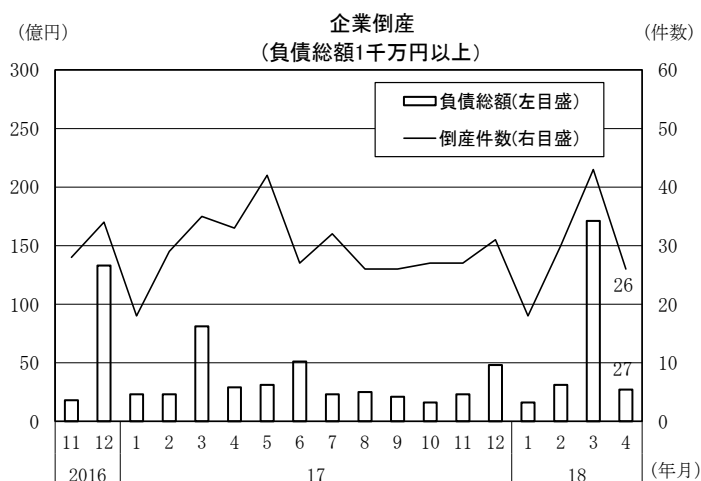


(資料)厚生労働省、総務省

4月の新規求人倍率(季節調整済)は1.95倍で前月比0.11ポイント低下したが、有効求人倍率(同)は1.29倍で同0.02ポイント上昇した。

完全失業率(南関東、原数値)は、2.8%と同0.2ポイント悪化したが、低水準にある。

7 企業倒産 低水準



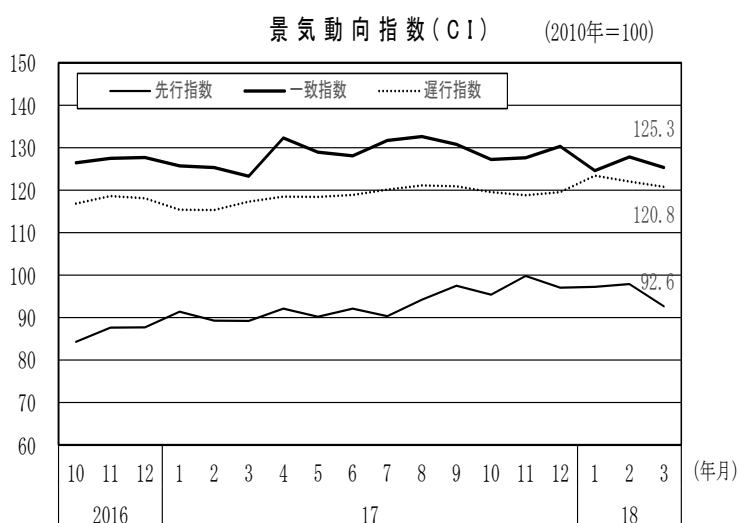
(資料)帝国データバンク

4月の企業倒産件数は、26件で前年比7件の減少、負債総額も27億円で同2億円の減少となった。

業種別にみると、卸売業が8件で最も多く、次いで建設業が7件、サービス業が6件となっている。卸売業が14か月ぶりに最多となった。主因別では、販売不振が23件で最も多くなっている。

〈参考〉

景気動向指数(CI) 下方への局面変化を示している



(資料)埼玉県

3月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、125.3で前月比2.5ポイント低下し、2か月ぶりの低下となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、92.6で前月比5.3ポイント低下し、3か月ぶりの低下となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、120.8で前月比1.2ポイント低下し、2か月連続の低下となった。